

「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

令和4年2月14日

団体名 庄瀬地区自主防災会

代表者氏名 藤井 孝志

- 1 提案事業名 災害を乗り越えられるまちづくり

- 2 事業内容 地区防災計画策定
 - ・7/15 防災計画の必要性についての研修会
講師：中越防災安全推進機構 諸橋和行氏
第1回ワークショップ（防災会・自治会防災担当）
各自治会の災害時における課題、計画書に盛り込む内容について
 - ・9/2 第2回ワークショップ（防災会）
計画素案作成
 - ・9/28 会議 防災訓練での調査項目について（防災会・自治会防災担当）
 - ・10/3 自治会ごとに避難経路確認、全戸訪問による要支援者状況確認
（防災会・自治会防災担当）
 - ・12/24～1/12 書面による計画書素案、防災マップ確認
 - ・1/15 修正版 書面による最終確認
 - ・2/1～ 計画書印刷
 - ・2/10 防災マップ完成
 - ・2/11 製本作業
 - ・2/14～ 全戸配布

- 3 評価と課題（目的と成果、今後の取り組み等について記入してください。）

コロナ禍で活動の自粛せざるを得なかったが、ワークショップは回数減、現地確認作業も自治会ごとに個別作業とし、編集作業は少人数又は書面での確認とするなど工夫をすることで最終的に多くの人に計画作成に、関わってもらうことができ、地域全体で防災について考えることができた。ワークショップでは計画の必要性についての講座も実施したため、計画は地域が自主的に作るものであると意識づけられ、グループトークでは積極的に意見が出された。各自治会の連絡体制や要支援者への取組み、自主防災会の災害時の行動など地域防災の様々な課題が見出せた。また、防災訓練時には自治会の役員と地元消防団の協力のもと全戸訪問を実施、自治会の避難経路や集合場所、リストアップされていない要支援者の存在などを確認し、その情報も計画策定の参考としたため庄瀬地域独自の計画書が完成した。今後は今回作成した計画書に沿った防災訓練を実施することで計画書の内容の評価・修正を継続、また、防災会の災害時行動マニュアルや避難所運営マニュアルとのリンクも考慮しつつ、要支援者の個別支援計画も充実させていきたい。

4 実施状況写真

① 7月15日 講演会・ワークショップ



② 9月2日 ワークショップ



③ 10月3日 全戸訪問聞き取り調査



収支決算書

収入内訳

(単位:円)

収入項目	予算額	決算額	内 訳
南区まちづくり活動サポート事業委託料	432,000	432,000	新潟市からの委託料
自己負担		2,112	コミ協より
収入合計	432,000	434,112	

支出内訳

(単位:円)

支出項目	予算額	決算額	内 訳	委託料 充 当
報償費	100,000	116,000	講師料①製本ボランティア謝礼②③④	○
印刷製本費	332,000	292,708	アサヒ印刷⑤コミ協⑥-⑩刊広社⑪	○
消耗品費	0	24,524	アスクル⑫⑬	○
雑費	0	880	振込手数料①	○
支出合計	432,000	434,112		

※1 支出内訳で、南区まちづくり活動サポート事業委託料を充当した項目は、「委託料充当」欄に○を記入してください。

※2 領収書の写しを必ず添付してください。